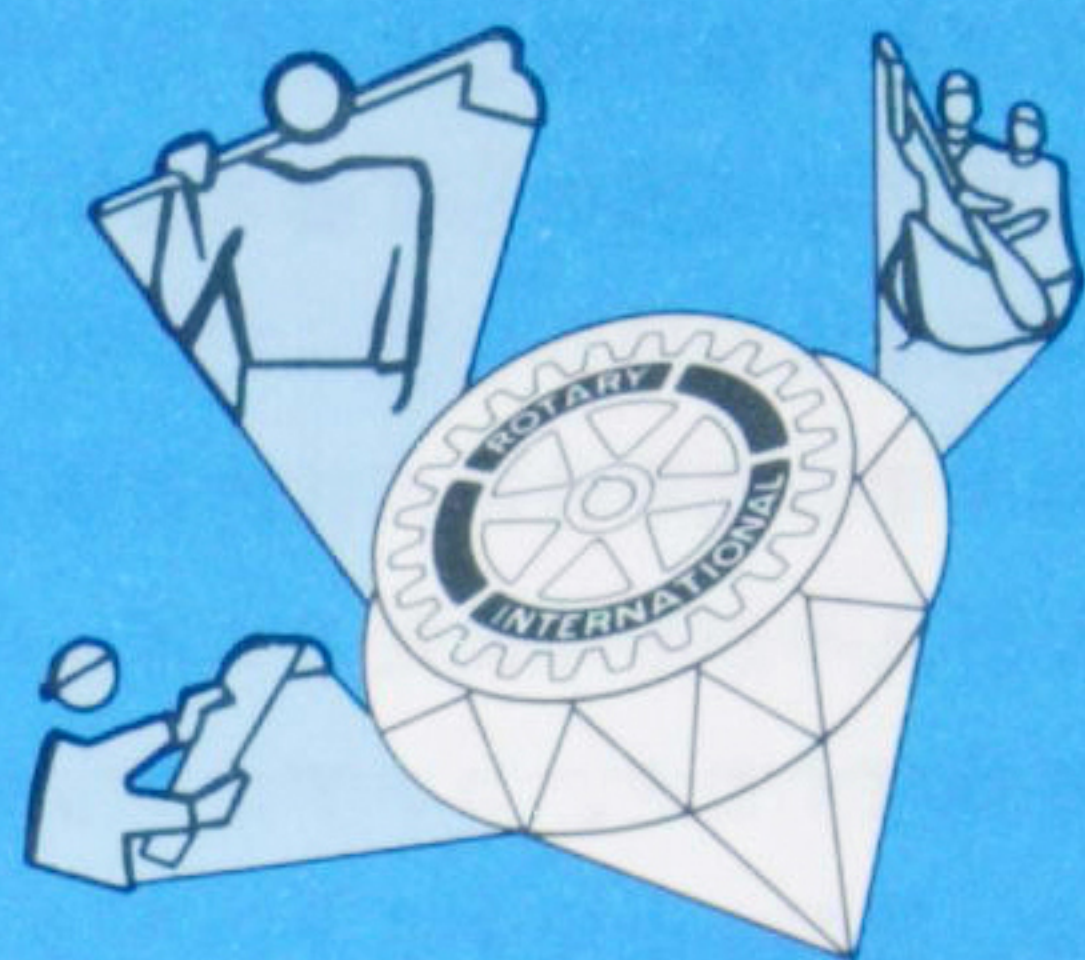


ENJOY ROTARY!



ロータリーを 楽しもう!



1989-90年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー ●第256地区ガバナー 吉野 一郎
- 会長 — 小林 英雄 ●副会長 — 小林九満太 ●幹事 — 五十嵐昭一
- SAA — 近藤 雄介、渡辺喜彦 ●例会日 — 毎週水曜日 12:30~
- 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替えます)

- クラブ会報委員 — 古沢 富雄、渋谷 正一、佐久間洋一、高橋 清見、小林 正義

出席会員数

会員 74名中 50名

先々週出席率

95.83% (前年同期 92.42%)

今日のお花

金魚草

ヴィジター

三条南より 鈴木幸一君、田辺吉洋君、丸田肇一君
新潟東より 中田泰珠君

先週のメイクアップ

11/16 会津坂下へ 内山辰策君
11/19 第279地区年次大会へ(千葉館山へ) 平原信行君
11/20 三条南へ 丸山金重君、藤田紘一君、長谷川有美君
11/21 三条北へ 渡辺惣吉君、轡田秋夫君、大谷幸平君、
加藤紋次郎君、斎藤弘文君、藤田説量君、
渡辺喜彦君、渡辺宏策君、岩井数央君、
渋谷健一君、広岡豊作君

会長挨拶

小林(英)会長

スキーのシーズンになると、毎年松葉杖をついたり、ギブスを当てたりの人がいます。よせばいいのにと思うのはスキーをしない人です。激しいスポーツを好む人々にとっては、少々のすり傷や捻挫などもの数ではありません。

一般に人間は楽しみを求めるものと言われますが、「楽しみ二樂をする」ということではないようです。人は樂をする事が出来るようになることを目標にして働きます。哲学者アランはそこに至るまでの、苦しみの方を人は愛するのではないかと語っています。この苦しみとは目標達成のための問題解決のための苦しみです。無意味に肉体的苦痛を味わうのは誰も好みません。押しつけられたものはだめです。人々が夢中になるスポーツにははっきりした目的があります。相手に勝つこと、記録を伸ばすこと、コンディションを維持すること等々です。職場の仕事でも同じだと思います。問題を解決するというはっきりした目的があればある程、そして問題が手強いほどそれをやるのが面白くなるのだと思います。だから困難な勝利ほど気持ちのいいものはありません。だが怠け者には、この人生の秘密が最後までわからないのではと考えます。

ロータリーの奉仕も、面倒なもの、厄介なもの程積極的に参加しましょう。ロータリーの楽しみが本当にわかると思います。

幹事報告 五十嵐(昭)幹事

◦例会変更のお知らせ

燕RC — 11月30日(木)夜の親睦例会 於 明治屋新館

◦三条市育成会より クリスマス母子の集いの案内がとどいております。

とき 12月12日(火) AM10:00~PM14:30

ところ 三条市体育文化センター3階大集会場

◦第81回国際ロータリー年次大会のご案内がとどいております。

米国オレゴン州ポートランド 1990年6月24日~27日

ニコニコボックス ¥16,000

- 鈴木君 8日~19日の12日間中近東の旅へ行って来ました。油の国クウェート、アブダビ、ドバイの街は日本やアメリカにも見られない新興都市であった。
- 大谷君 去る13~14日、広島市で大学時代の同級会に行って45年振りで再会した顔もあり、楽しい2日間を過ごして来ました。
- 高橋(一)君 12日間の楽しい中東旅行をしてまいりました。
- 五十嵐(力)君 中近東へ行って来ました。砂の国と聞いていたが、水が無い事は大変な事です。
- 渡辺(勝)君 中近東旅行を無事終えて帰りました。メンバーの皆様にお世話になりました。
- 榎本君 本日の卓話、講師酒井校長先生をお迎えして。

- 内山(辰)君 よい事がありそうです。
- 平原(信)君 19日千葉館山での279地区大会に参加して遠来賞をいただきましたので。
- 佐藤(信)君 昨日は新潟市長の日程を戴いて新庁舎を見学させていただきました。さすがに48万都市新潟と思いました。
- 丸山君 先週、先々週と続けて欠席しました。お詫びします。

卓話 三条高等職業訓練校の訓練概況

三条高等職業訓練校

校長 酒井脩輔殿



当校の職業訓練は、43年の歴史をもっています。昭和21年10月三条市田島興野で三条金工補導所として鍛造工の養成から発足しました。昭和23年に三条職業補導所と改称、それまでの慈惠的事業から本格的な職業訓練となり養成訓練生鍛造25名 機械25名の労働力需給調整機関として位置づけられた。昭和33年月職業訓練法施行職業訓練制度が確立され、それまでの技能者養成、職業補導、監督者訓練に技能検定制度が新しく加えられ名称も新潟県立三条職業訓練所とされました。昭和39年9月三条市柳澤(現在地)に新庁舎完成移転養成訓練(中卒者以上を対象にする訓練)鍛造科 40名 機械科 40名 仕上げ科 30名 溶接科 10名職業転換訓練鍛造科 10名 機械科 10名 溶接科 30名(6か月訓練)昭和44年 職業訓練法一部改正に伴い名称を 三条専修職業訓練校と改称高度成長期の技能者不足に対処しうる制度が要請される。段階的、体系的な職業訓練として整備し、腕と、頭を兼ねそなえた新しいタイプの技能者の養成を目指すこととする。昭和52年4月 県立三条高等職業訓練校と改称。高卒者以上を対象とする養成訓練 精密機械科 20名 1年訓練 金型科 20名 1年訓練開始昭和60年10月1日 職業訓練法から職業能力開発促進法(能開法)に改正され新しい理念による職業訓練が展開されています。その基本理念は、「職業に必要な労働者の能力を開発し、及び向上させることが

、職業の安定及び労働者の地位の向上のために不可欠であるとともに、経済及び社会の発展の基礎をなすものであることにかんがみ、職業能力の開発及び向上の促進は、労働者各人の希望、適性職業経験等の条件に応じつつ雇用及び産業の動向技術の進歩、産業構造の変動、経済活動の国際化等に即応できるものであって、その職業生活の全期間を通じて段階的かつ体系的に行われることを、また技能検定は、職業に必要な労働者の能力についてその到達した段階ごとの評価が適正に行われることを基本理念とする。職業訓練および技能検定は、前項の基本理念に従って、相互に密接な関連の下に行われなければならない。」としています。

以上のように、職業訓練の歴史は、産業の動向、技術の進展、労働者の需給等時代時代の変化に即応して変遷をしてきてます。

なお、当校訓練修了生は、昭和63年現在で次のとおりです。

修了生の状況

養成訓練	4,941人
能力再開発訓練	1,644人
向上訓練	1,487人
合計	8,072人

労働者が求めるニーズ、産業界が求めるニーズ等の調整を図りながら実施するのが職業訓練に求められる使命としているからでしょう。

しかし今日では、若者の価値観の多様化等訓練受講者のニーズと産業界（求人側）のニーズとは必ずしもマッチしないのが現実の姿であります。

新潟県での職業訓練施設としては、県立の職業訓練校が6校（新潟、三条、柏崎、魚沼、上越、十日町）と雇用促進事業団立職業訓練校が2校（長岡、新発田）があります。その他法人事業内の認定訓練校が29校あります。

各施設では、それぞれの地域と関連する職種の職業訓練を実施していますが、公共の訓練では県立と事業団立ではその役割を次のように分担しています。

県立校では、養成訓練（新規に学校を卒業して職業生活を開始しようとするものをはじめとして、労働者一般に対し、その職業に必要な基礎的な技能、技術を習得させるために行われる訓練、「すなわち労働者の職業生活の最初の段階における訓練」をいう）を主業務としています。

団立校は、能力再開発訓練（技術革新の進展構造不況による企業の合理化、産業の再編成あるいは定年退職等の離転職による職業の転換を必要とする労働者に対

し、新たな職業に必要な技能を修得させるための職業訓練）と、向上訓練（現在働いている人「在職者」を対象に技術の進展、ME化、生産方式の変化などに対応できるように新しい専門的な知識や技能を追加して訓練し職業能力の開発向上を図る訓練）を分担することとしていますが、地域の事情等もありお互いに補完し合って実施されています。

現在、三条校で実施している訓練は、次のとおりになっています。

対象	科名	定員	訓練期間
高校卒業以上を対象にした養成訓練	精密機械科	20名	1年
	金型科	20名	1年
	経理事務科	20名	1年
	計	60名	

対象	科名	定員	訓練期間
中卒卒業以上を対象にした養成訓練	鍛造科	20名	1年
	機械科	20名	1年
	プレス科	10名	1年
	溶接科	20名	1年
	計	70名	

対象	科名	定員	訓練期間
能力再開発訓練	プレス科	10名	1年
	溶接科	20名	6か月（年2回）
	造園科	20名	1年
	縫製科	8名	6か月（年2回）

向上訓練	技能向上訓練	5科16コース
	管理監督者訓練	6科6コース

その他の業務	1 技能検定協力
	2 学習企業支援業務
	3 生涯能力開発給付金窓口業務

なお、平成2年度は、高卒対象の精密機械科と経理事務科を廃止し、新たに

NC機械科 定員 20名 訓練期間 高卒2年

情報ビジネス科 定員 20名 訓練期間 高卒1年 を設置発足します。

現在、県では職業訓練整備計画を今年度でまとめる予定ですが、職業訓練という言葉でイメージされてきた職業訓練観の一新を図るため、訓練校の名称、訓練科目、訓練の内容等、地域、時代にマッチした職業訓練にするために新潟県職業訓練審議会に諮問しているところであります。

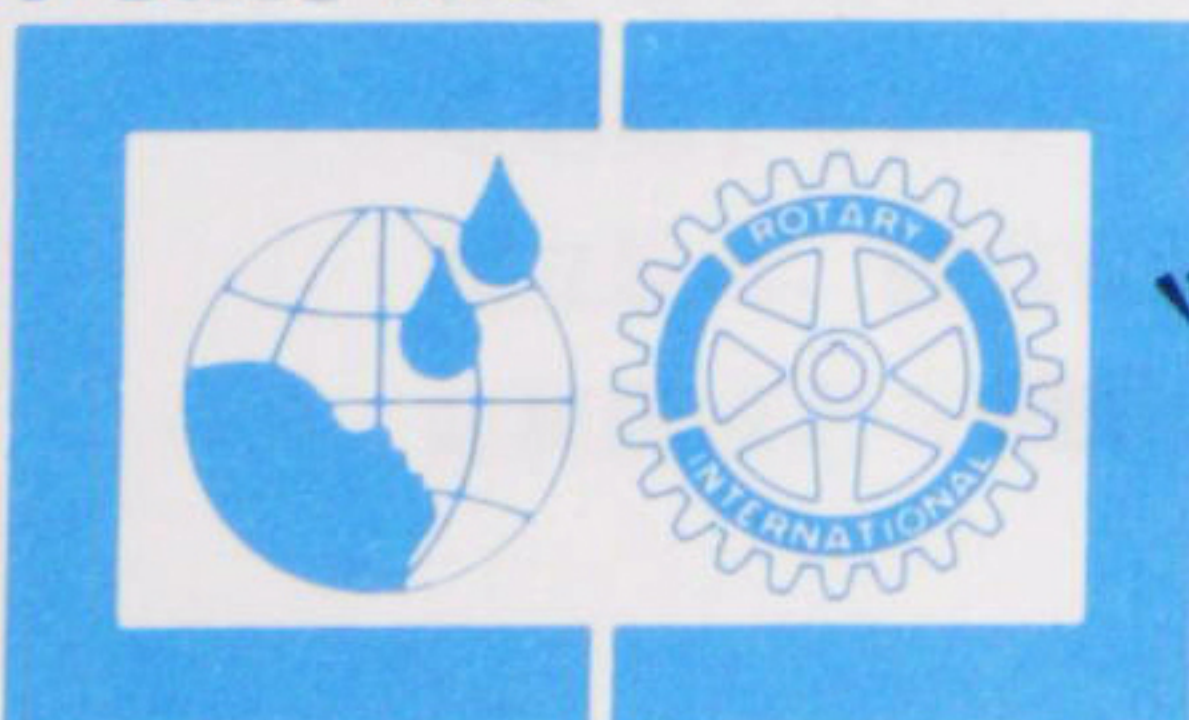
今回は、私共の行政について説明の機会をいただきありがとうございました。

今後とも職業訓練に、ご理解をいただき暖かいご支援をくださいますようお願い申し上げます。

次週例会	11月29日	卓話	新発田第30普通科連隊長 一等陸佐 佐藤吉紀殿
------	--------	----	----------------------------

次々週例会	12月6日	卓話	上林小学校 校長 馬場道子殿
-------	-------	----	----------------

PolioPlus



「開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を」